

# わが家の 防災

## ハンドブック



宇美町

平成30年3月

保存版



自然災害による被害を最小限に  
くいとめるためには、災害前の  
今、災害時の想定をどれだけで  
できるかにかかっています。

自らの命、そして大切な人の命を  
救うために考えてほしい。

災害の瞬間、自分の身を守る最大  
の味方は自分自身だから・・・

# 目次

プロローグ	1
-------	---

## 地震編

宇美町で想定される地震と被害	10
大地震発生! その時どうする	14
揺れに備える	30
住宅の耐震化について	34
耐震改修工事の補助制度	36

## 風水害編

風水害から身を守る	38
土砂災害から身を守る	48
防災コラムその1	52

## その他の災害編

落雷から身を守る	56
竜巻から身を守る	60
事態別の対処方法	66

## 火災救急編

火災への備え	74
火災の被害を減らすために	78
知っておきたい応急手当	82
感染症から身を守る	96
救命処置	101

## 共通編

物を備える	116
家族の防災会議	130
避難情報を入手する	138
指定避難所と指定緊急避難場所	142
避難勧告・避難指示による避難	144
避難所開設までの流れ	146
避難生活の心得	148
防災コラムその2	160

## 災害 知識編

被災の後に	174
災害ボランティア	176
生活再建支援制度と手続き	178

## 防災の 豆知識

防災豆知識	188
わが家の防災メモ	204

# 大規模災害から学ぶ防災

## 阪神・淡路大震災

平成7年1月17日午前5時46分、明石海峡を震源地とするマグニチュード7.3の地震が発生し、死者6,434人、住宅の全壊10万棟等、多くの被害がありました。

## 東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0を記録する地震が発生。この地震により、大津波が発生し、19,575人の尊い命が奪われる等の被害がありました。

災害を“他人事”から“我が事”へ



## ポイント!



○阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの大規模地震では、生き残った住民によって周辺の多くの命が救われました。自分が無傷で生き抜ければ助けられる側の人が減り、助ける側の人が増えます。あなたが生き残れば誰かの命を救えるのです!

災害直後には消防や役場等の支援が受けられないことを想定して、日ごろからの備えを行いましょう。また、倒壊家屋が多かったことを教訓とし、家屋の耐震補強等を行いましょう。

前ぶれなく突如襲ってきた阪神淡路大震災から23年、東日本大震災から7年、熊本地震から2年、そして九州北部豪雨災害から1年、あのときの惨状を過去の出来事として捉えるだけでなく、大規模災害において活かされた日ごろの防災活動や、実際に行われた活動等を学びましょう。

## 熊本地震

平成28年4月14日午後9時26分、マグニチュード6.5が発生後、4月16日午前1時25分にマグニチュード7.3の地震が連続して発生し、多数の家屋倒壊、土砂災害等により、死者251人、住宅の全壊8,677棟等、多くの被害がありました。

## 九州北部豪雨災害

平成29年7月5日から6日にかけて、総降水量が500ミリを超える記録的な大雨により、死者35人、行方不明者3人、住宅の全壊268棟等、多くの被害がありました。

**日ごろの準備が大切です!**



平成29年7月九州北部豪雨災害では、平成24年7月の九州北部豪雨災害での経験から、ある地域では「自主防災マップづくり」など、地域みんなが助かるための仕組みを作り、それが避難行動に活かされて被害を免れています。



災害の教訓を活かして、日ごろから防災について考え、地域みんなで防災に取り組みましょう。

# もしも、

あなたが住んでいる  
地域に集中豪雨や  
地震が起こったら  
どうしますか？

あなたが住んでいる  
地域に避難勧告や  
避難指示が出たら  
どうしますか？

避難勧告が  
出たけど、たいしたこと  
ないから逃げなくても  
大丈夫。

宇美町は地震が  
起きてても被害は  
ないから大丈夫。

いざというときは  
役場が何とかして  
くれるから大丈夫。

本当にそうなの  
でしょうか？

宇美町では、自然災害による被害を最小限に食い止めるため、河川改修などの整備を行っています。また、土砂災害ハザードマップを作成し、町内の全世帯に配布するなど、行政としての対策を行っています。

**でも、それで本当に大丈夫だと思いますか？**

災害を防ぐための施設整備は重要ですが、災害は想定を  
超えて発生するということを忘れてはいけません。

災害対策にこれで万全ということはないのです。



災害は、いつ、どんな時に起こるかわかりません。

災害に対する備えをしないまま、災害について何も知ら  
ないまま、災害が起こったら・・・「まさかの出来事」は突然  
やってきます。

災害発生!その時、自宅にいたら? 一人だったら? 家族  
といたら? 真夜中だったら? 子どもが学校や幼稚園、  
保育園にいたら?

その時、あなたはどうしますか?

災害が起きていない「今」なら私たちが防災に向けて、  
できることがたくさんあります。

# 『わが家の防災ハンドブック』とは

地震、台風や集中豪雨による土砂災害、河川氾濫など、宇美町でもこれまでに自然災害が起こっています。自然災害はその発生を防ぐことはできませんが、被害をできる限り小さくすることはできます。

被害を最小限に食い止めるには、住民それぞれが災害について知り、日ごろからの備え、あわてずに適切な行動をとることが重要です。また、災害が起こったときに、地域で助け合うには、日ごろから隣近所や自治会など「顔の見える」規模の地域コミュニティで防災活動に積極的に取り組むことが必要です。

この冊子には、住民の皆さんが、災害から自分自身と大切な家族の命を守っていただくために必要なことを掲載しています。

「宇美町土砂災害ハザードマップ」と合わせて活用し、「自分でできること」「家族でできること」「近所や地域でできること」について考え、いつ起こるかかわからない災害に備えて、一人ひとりが命を守り抜く力をつけましょう。

## 防災ガイド「ミウちゃん」

生まれも育ちも宇美町です。宇美八幡宮で巫女をしています。趣味は卓球と防災で、卓球の腕前は抜群、防災にも興味シンシンで、周りの人に地震などの自然災害に目を向けることや、防災を広めるためにガイドを行っています。口ぐせは「今からはじめよう」です。しっかり者で何が起きてもあわてず行動できる女の子です。

